

製品名: リン酸化 CDC37 (Ser13) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00707**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 44 kDa; Observed MW: 50 kDa

抗原情報

遺伝子名	CDC37
別名	CDC37; CDC37A; Hsp90 co-chaperone Cdc37; Hsp90 chaperone protein kinase-targeting subunit; p50Cdc37
遺伝子 ID	11140
SwissProt ID	Q16543
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

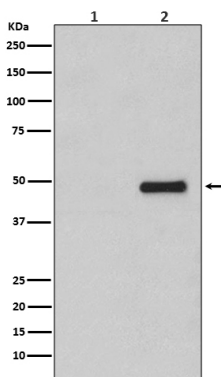
背景

CDC37 は HSP90 シャペロン複合体の重要な構成要素です。当初は細胞周期の進行に関与する因子として同定されましたが、後に様々なキナーゼやその他のタンパク質のシャペロンとして、より広範な役割を果たすことが明らかになりました。CDC37 タンパク質は、アミノ末端にキナーゼ結合ドメインを持ち、その中央に HSP90 結合ドメインが続きます。

研究分野

細胞生物学

画像データ



(1) アルカリホスファターゼ処理した Jurkat 溶解物中の Phospho-CDC37 (S13) のウェスタンブロット分析、(2) Phospho-CDC37 (Ser13) 抗体を使用した Jurkat 溶解物。